

# 最近の雇用情勢について

(令和2年5月)

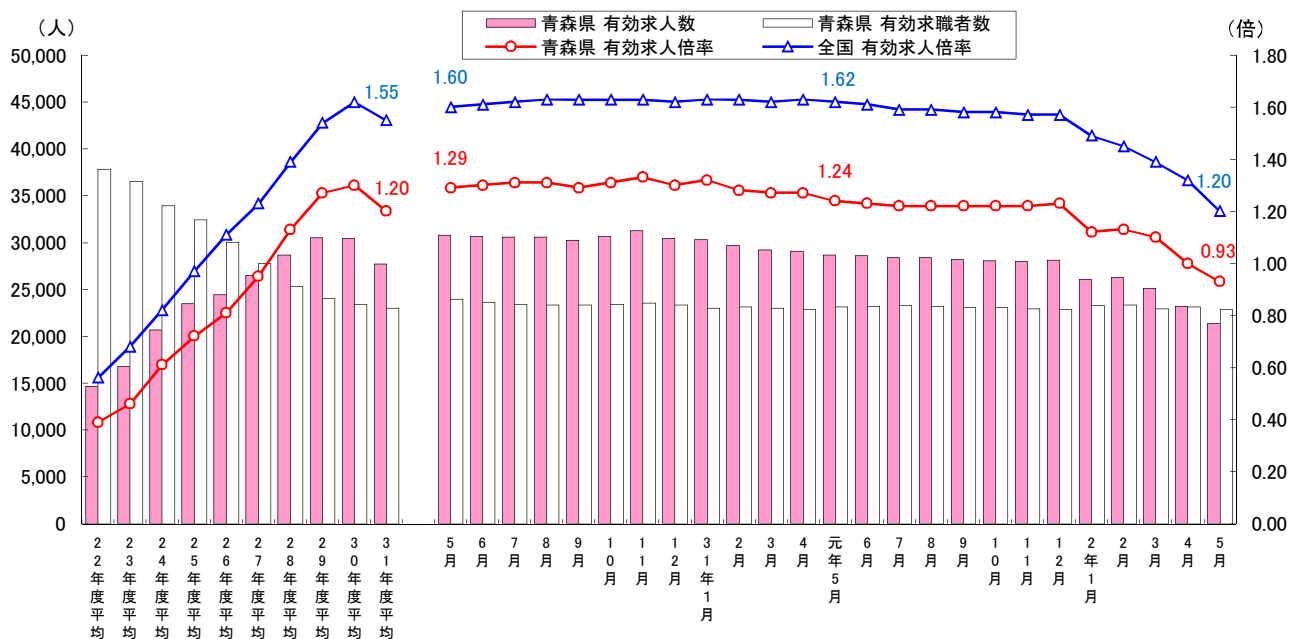
青森労働局

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

5月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ7.9%減少し21,378人、有効求職者数（同）も1.2%減少し22,874人で、有効求人倍率（同）は0.93倍となり、前月を0.07ポイント下回った。

就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.02倍で前月に比べ0.08ポイント下回り、受理地別の倍率を0.09ポイント上回った。

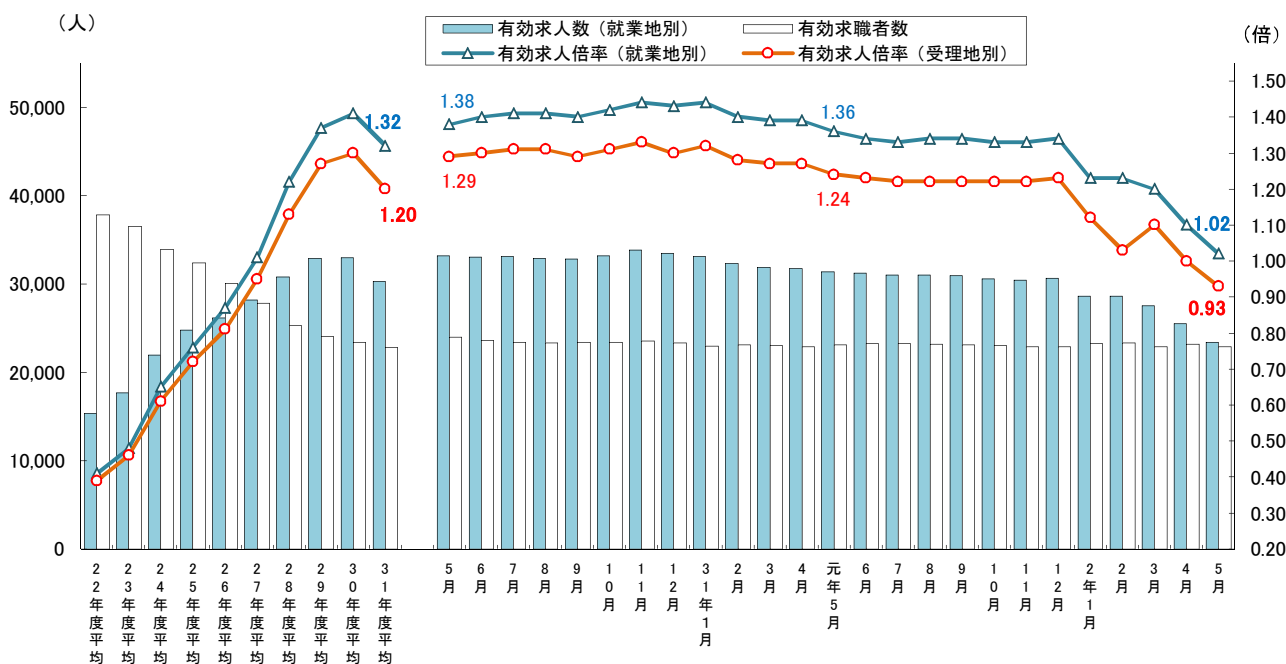
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

## 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

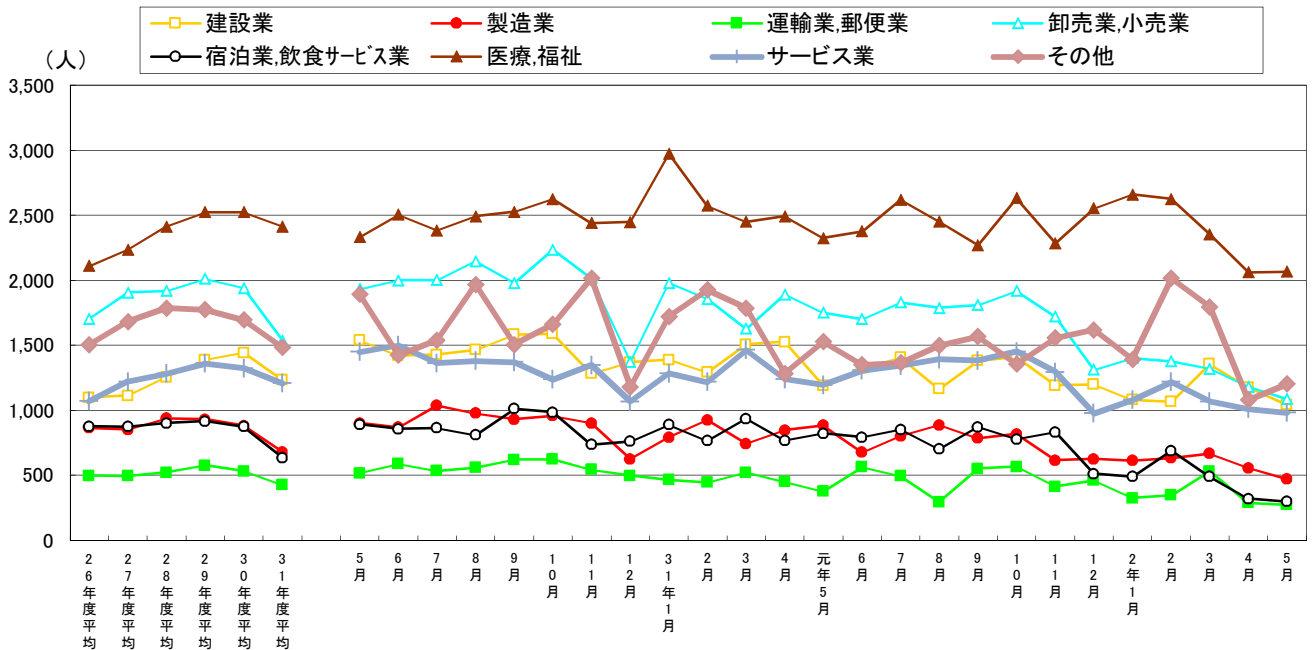
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

5月の新規求人数(原数値)は前年同月比26.3%(2,648人)減少の7,406人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、建設業、製造業、卸売、小売業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、木材・木製品製造業(家具を除く)、家具・装備品製造業、窯業・土石製品製造業で増加したが、食品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック、ゴム製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、その他の製造業で減少した。



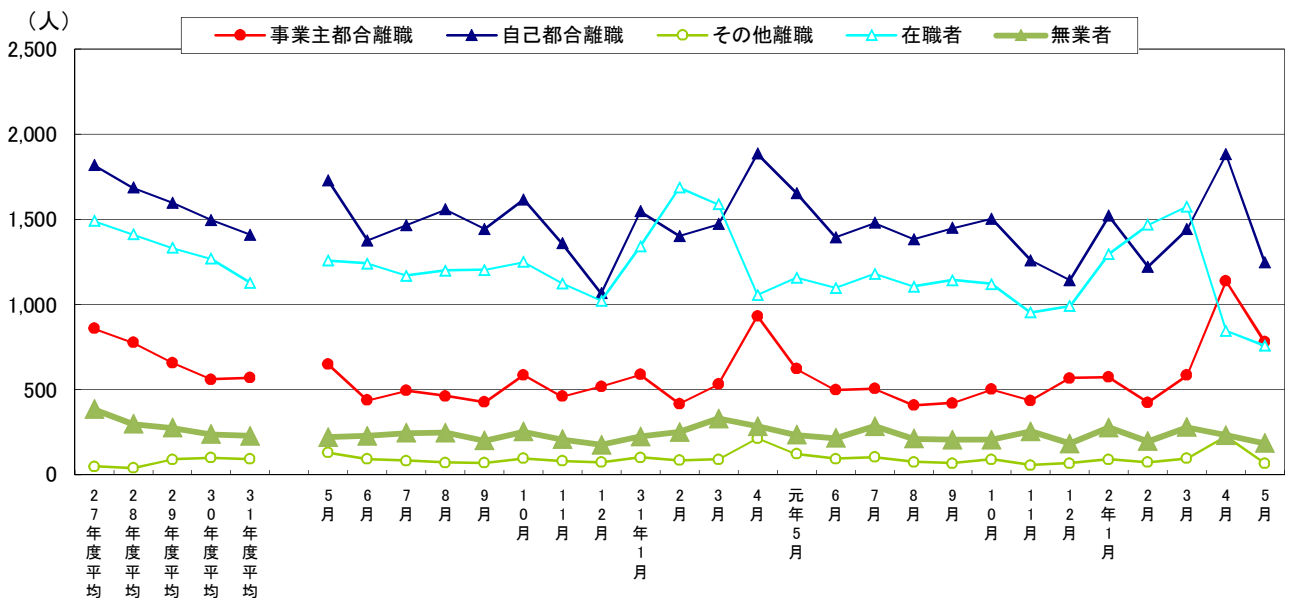
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農,林,漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

5月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比14.4%(890人)減少の5,281人。

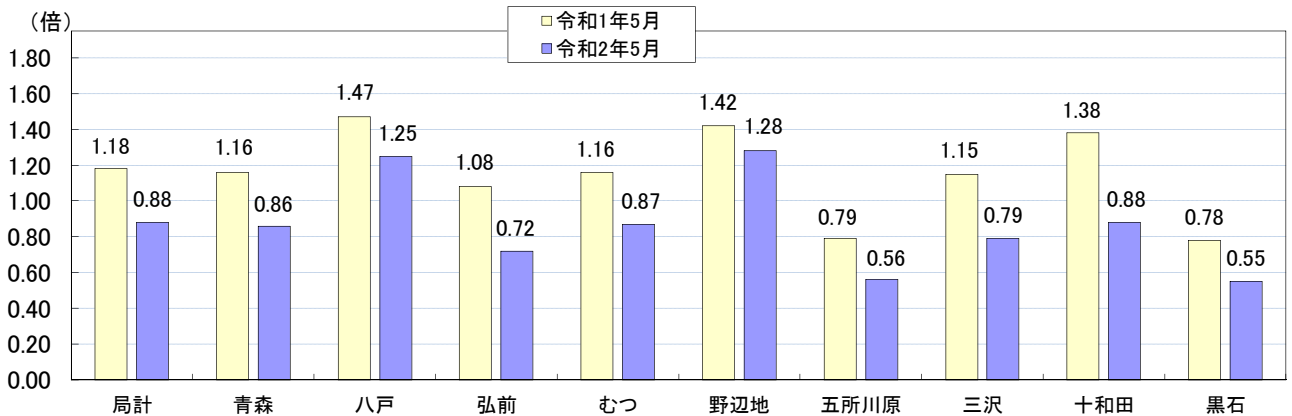
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は34.6%(401人)、無業者は20.9%(49人)、離職者は12.8%(308人)減少となった。

離職理由別では、事業主都合は前年同月比25.2%(157人)増加、自己都合は同24.7%(409人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

5月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.88倍となり、前年同月より0.30ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.5	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,821	5,809	5,173	4,637	1,057	783	2,350	1,319	1,236	1,457
有効求人数	20,914	4,982	6,448	3,326	921	1,004	1,306	1,047	1,085	795

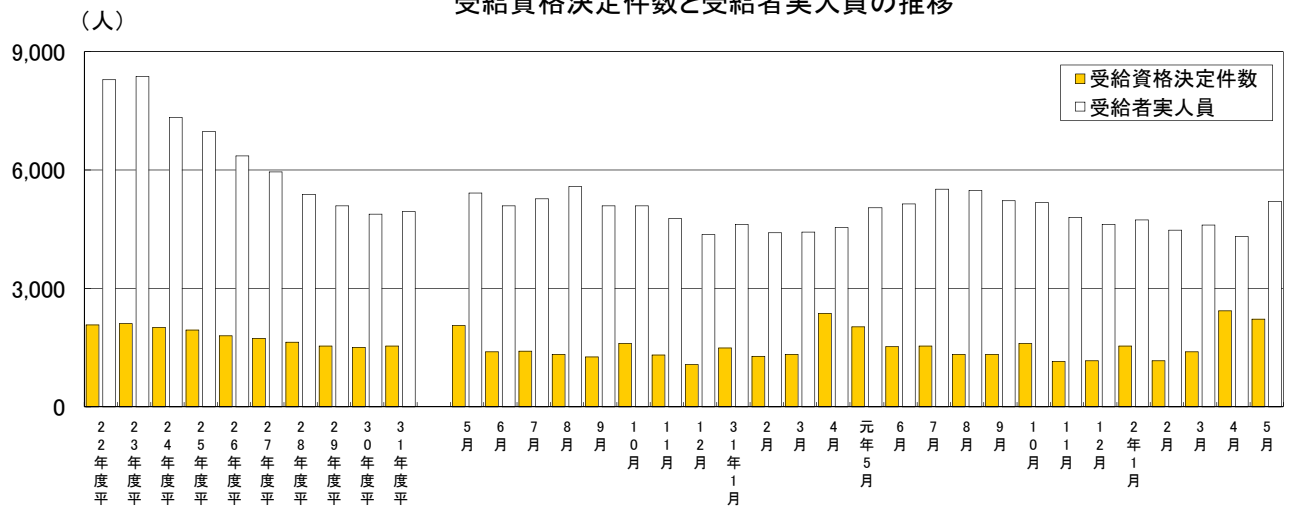
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

5月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比3.1%(158人)増加、前月比では20.6%(890人)増加の5,202人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.5%(194件)増加、前月よりも8.7%(211件)減少し2,227件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比61.1%(203人)増加、前月比31.8%(249人)減少し535人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

